

野生イノシシの豚熱感染対策について

家畜伝染病予防法が一部改正され、豚熱の発生農場における**選択的殺処分**が導入されました。他方、野生イノシシについては、全国各地で豚熱感染事例が確認され、感染イノシシが飼養豚への豚熱感染リスクとなっています。豚熱感染拡大防止のため、以下の対策の実施をお願いします。

① 登山者等への豚熱感染防止対策の周知徹底

- ・農林水産省のチラシ（別添1）、「家畜衛生ポスターデザインコンテスト」の活用
- ・経口ワクチン散布等の対策の実施状況を情報発信

② 狩猟者への豚熱対策の再徹底

- ・「捕獲作業従事者のみなさまへ」等の資料の活用（別添2）

③ 豚熱感染イノシシが確認されている地域の飼養衛生管理遵守の再徹底

- ・豚熱の特定症状、死亡の増加等が確認された場合は家保へ速やかに通報
- ・飼養管理に必要な人、車両等の農場への出入りの制限
- ・農場に出入りする場合には、衣服及び長靴の交換、手指消毒、車両及び物品の消毒
- ・野生動物の侵入防止対策を定期的に点検し、不備があれば改善

◎令和8年度

野生イノシシ豚熱検査陽性事例

発見又は捕獲日	発見状態	発見又は捕獲場所
4月17日	捕獲	長野市
4月27日	捕獲	千曲市
5月2日	捕獲	坂城町
5月8日	捕獲	千曲市
5月21日	死亡	信濃町
6月5日	捕獲	信濃町

別添1

豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします！

STOP! 豚熱

豚熱ってどんな病気？

豚熱はウイルスによる豚・いのししの病気、人へは感染しません。豚熱は感染力が高いため、養豚農場で豚熱の感染が確認された場合、他の養豚農場への拡散を防ぐため、発生農場の豚を処分することが家畜伝染病予防法で規定されています。

養豚農場の豚への感染を防ぐためには野生いのししと豚との接点を断つとともに、野生いのししにおける豚熱ウイルスの拡散防止が重要です。

豚熱対策には山へ入る皆様のご協力が必要不可欠です！

対策①

靴の泥は山で落とそう

感染いのししの生息する地域の土等にはウイルスが含まれている可能性があります。

対策②

ゴミは持ち帰りましょう

ゴミによりいのししが誘引され、ウイルス拡散リスクが上がります。

対策③

家畜がいる施設には近づかないようにしましょう

対策④

いのししの死体を見つけたら管轄の自治体に連絡しよう

感染した野生いのししの死体は感染源となります。

豚熱対策にご協力をお願いします。